



# Protection Server

## インストールガイド

2023 年 10 月 初版

GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2023 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号

電話番号 : 03-6303-9381      FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

## 目次

目次.....	3
はじめに .....	4
<b>1. Protection server の用途と利点.....</b>	<b>6</b>
1.1 Protection server とは .....	6
1.2 複数本のライセンスを一元管理 .....	8
1.3 Protection Server のバージョンについて .....	9
<b>2. Protection server の導入 .....</b>	<b>10</b>
2.1 要件の確認 .....	10
2.2 ネットワーク設定の確認 .....	10
2.3 Protection Server のインストール .....	10
2.4 Protection Server を使用する .....	12
<b>3. Protection Server のアップグレード.....</b>	<b>14</b>
3.1 Protection Server をアップグレードする理由 .....	14
3.2 Protection Server のアップグレード方法 .....	14
<b>4. ライセンス複数本管理の注意点.....</b>	<b>16</b>
4.1 ライセンスを複数本管理できる条件.....	16
4.2 複数本ライセンス更新/追加時の注意点 .....	18
4.2.1 発行単位について.....	19
4.2.2 発行単位の更新 .....	21
4.2.3 発行単位が混在した後の対応策 .....	25
4.3 ライセンス停止と発行単位について.....	26
<b>5. 期限の異なるライセンスを 1 つの端末で管理する.....</b>	<b>27</b>
5.1 端末 A でライセンスを管理するシナリオ .....	28
5.2 端末 B でライセンスを管理するシナリオ .....	30
5.3 端末 C でライセンスを管理するシナリオ .....	32
<b>6. ライセンス更新/追加/アップグレードの同時発生時のシナリオ .....</b>	<b>34</b>
<b>7. よくある質問 .....</b>	<b>35</b>
7.1 他の端末がライセンスを使用したままになっている。(ライセンスが解放されない) .....	35
7.2 Protection Server のライセンスを開発端末で操作できますか.....	35
7.3 Protection Server のライセンスが開発端末では「未承認」と表示される .....	35
7.4 WorkWithPlus がライセンスマネージャーに表示されない.....	36
7.5 Protection Server に接続できない .....	36

## はじめに

本書は、Protection Server をご利用いただくためのインストールガイドです。

GeneXus および関連製品のライセンスの転売は禁止されております。他社への変更／譲渡はできません。

## 前提

Protection Server のご利用にあたって、GeneXus に同梱される「ライセンスマネージャー」での操作と重複する部分が多数あるため、本書では GeneXus ライセンスの請求方法や取り込みといったライセンスマネージャーの操作方法、ライセンスの移行などの詳細は記載しておりません。これらの記載については、GeneXus インストールガイドに記載していますので、もし GeneXus インストールガイドを参照されていない場合には、先にご参照ください。

## Protection Server の概要

Protection Server を導入することで、ライセンスの一元管理、およびライセンスのリモート参照が可能になります。

## 用語とアイコンの説明

<用語>

### 【端末】

開発端末：GeneXus がインストールされている端末。サーバー端末に対してローカル端末とも言う。

サーバー端末：Protection Server がインストールされている端末。

### 【ライセンスの請求など】

ライセンスの請求：GeneXus ユーザーが請求ファイルを作成し、ライセンスの発行を請求すること。

ライセンスの発行：開発元がライセンスを発行すること。

ライセンスの受け取り：発行されたライセンスをメールで受け取ること。

ライセンスの取り込み：発行されたライセンスを端末に取り込むこと。ライセンスを「承認する」とも言う。

ライセンスを取り込むことで、端末で GeneXus が使用可能になる。

(次ページに続く)

### 【ライセンスの種類】

新規ライセンス：ライセンスが無い端末に対して発行されるライセンス。

「新規にライセンスを請求する」＝新規ライセンスを請求すること。

追加ライセンス：既にライセンスがある端末に対して、ライセンスの本数を増やすために発行されるライセンス。

「ライセンスの本数を追加する」＝追加ライセンスを請求したり、取り込むこと。

更新ライセンス：既にライセンスがある端末に対して、ライセンスの期間を延長するために発行されるライセンス。

「ライセンスを更新する」＝更新ライセンスを請求したり、取り込むこと。

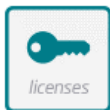
※本書では「更新ライセンス」と統一しますが、「継続ライセンス」と呼称する場合があります。

既存ライセンス：既に端末で取り込まれているライセンス。

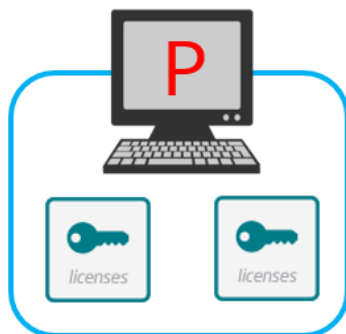
用例：既存ライセンスを更新する。既存ライセンスにライセンスを追加する。

### <アイコン>

下図はライセンスを意味するアイコンです。



例えば、下図は端末 P にライセンスが 2 本あることを意味します。



## 1. Protection Server の用途と利点

### 1.1 Protection server とは

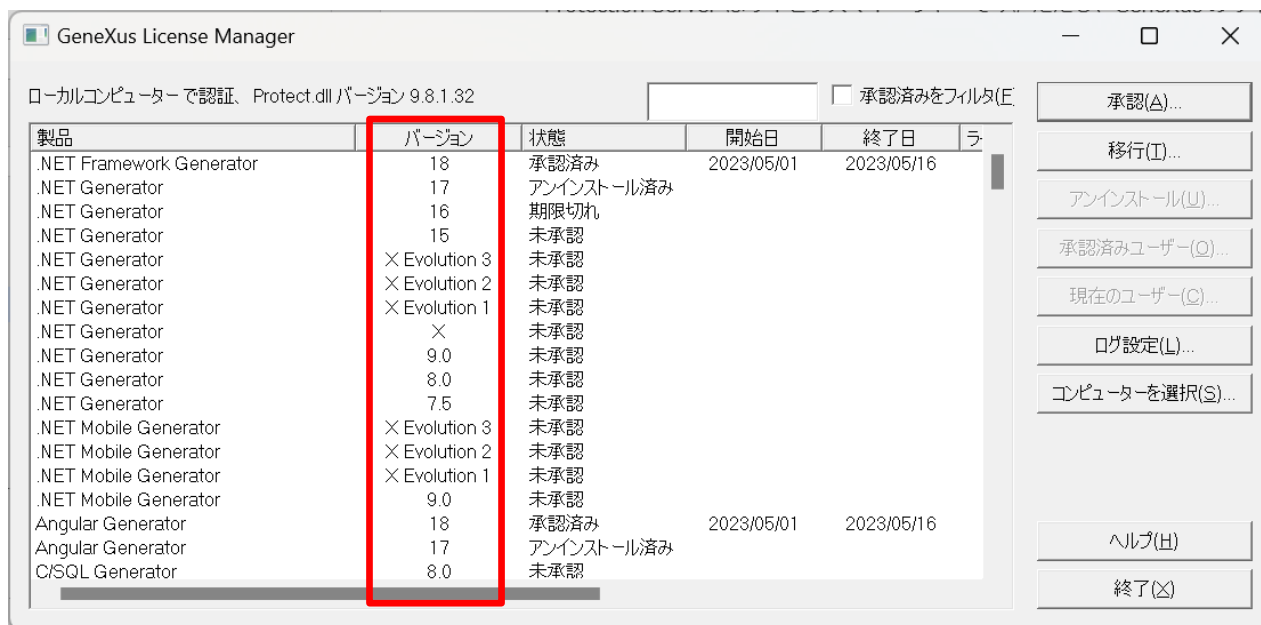
Protection Server はライセンスマネージャーです。ただし、GeneXus のライセンスマネージャーとは異なり、下記 2 つの機能があります。

- ① 全てのバージョンのライセンスを管理（請求や取り込みなど）できる
- ② 開発端末にリモートでライセンスを貸す（参照させる）ことができる

#### ① 全てのバージョンのライセンスを管理（表示や請求、取り込みなど）できる

例えば、GeneXus18 のライセンスマネージャーは「バージョン = 18」のライセンスしか管理できません。

一方、Protection Server は下図のように全てのバージョンのライセンスを管理することができます。

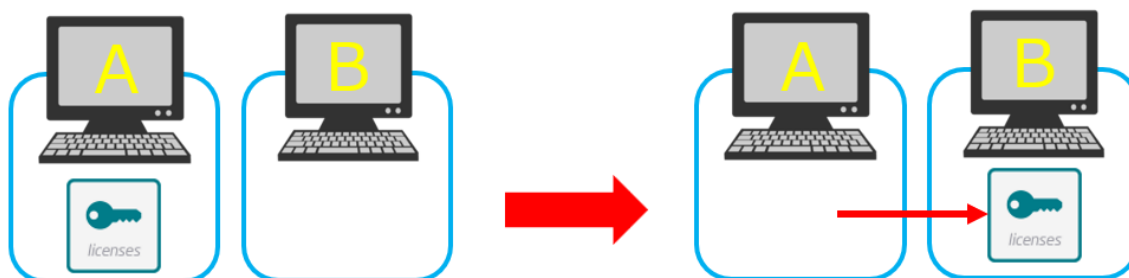


## ② 開発端末にリモートでライセンスを貸す（参照させる）ことができる

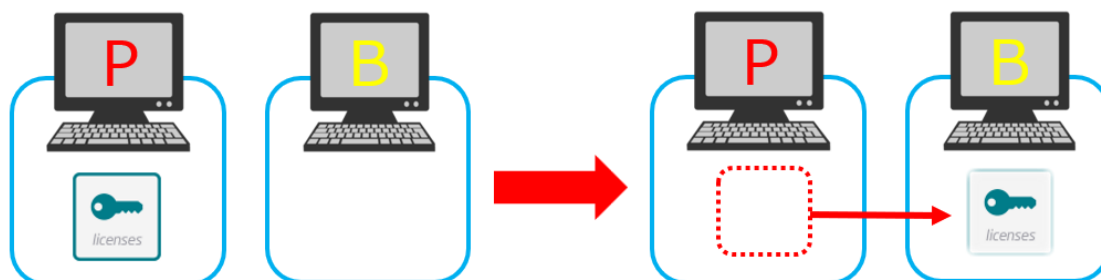
Protection Server で管理するライセンスを開発端末にリモートで貸す（参照させる）ことができます。

例えば、開発端末 A にライセンスがあり、開発端末 B にライセンスがないとします。

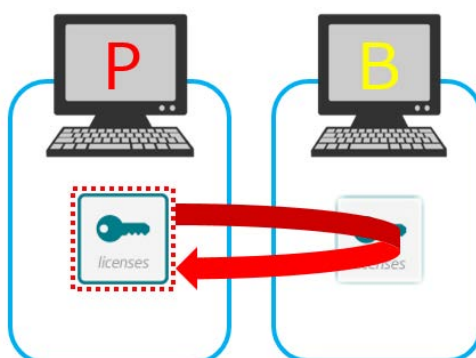
開発端末 B で GeneXus を使用するには、端末 A から端末 B にライセンスを物理的に移行させる必要があります。



一方、**Protection Server** がインストールされたサーバー端末 P に 1 本のライセンスがあり、開発端末 B にライセンスがないとします。この場合、開発端末 B は端末 P からライセンスをリモートで借りる（参照する）ことができます。開発端末 B がリモートでライセンスを借りている間、他の端末が端末 P のライセンスを借りることはできません。サーバー端末 P は端末 B にライセンスをリモートで貸しているだけなので、**物理的にライセンスは端末 P にあります。**

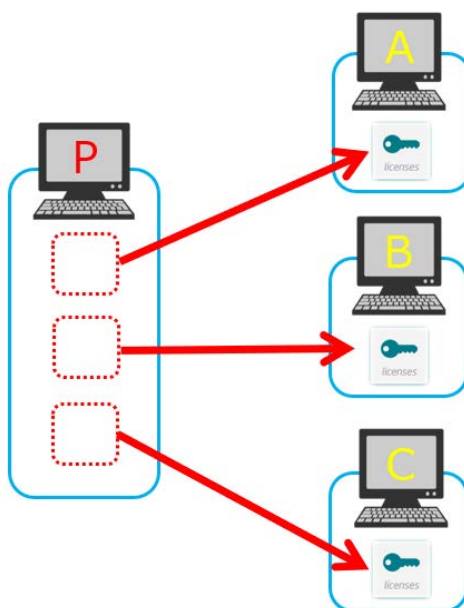


開発端末 B でライセンスの使用が終わる（GeneXus を閉じる）と端末 B からライセンスが端末 P に返却されます。



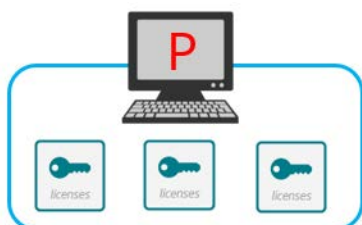
## 1.2 複数本のライセンスを一元管理

Protection Server で管理しているライセンスを開発端末にリモートで貸すことができる機能を用いることで、下図のように複数本のライセンスを Protection Server で一元管理することができます。

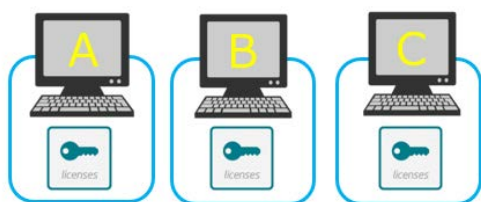


複数本のライセンスを一元管理することで、ライセンスの請求や取り込み、更新といった操作を複数本まとめて行うことができます。一方、個々の開発端末でライセンスを管理していると、端末の数だけ請求や取り込みといった操作を行う必要があります。

例：



Protection Server で管理している 3 本のライセンスをまとめて請求、取り込み、更新などができる。



各端末でライセンスの請求、取り込み、更新などを行う必要がある



### 1.3 Protection Server のバージョンについて

Protection Server にもバージョンがあります（例：9.8.1.32）。バージョンによって管理できるライセンスに影響が出てしまう場合があるため、常に最新バージョンを使用してください。

例）「バージョン = 9.8.1.29」ではライセンスのバージョン = 17 までしか管理できないが、「バージョン = 9.8.1.32」では、ライセンスのバージョン = 18 まで管理できる。

Protection Server の新しいバージョンは GeneXus と同時にリリースはされますが、必ずリリースされるわけではなく、不定期リリースとなります。下図は GeneXus17U2 から GeneXus18U2 にかけて Protection Server がリリースされたタイミングです。GeneXus の新しいメジャーバージョンがリリースされる時は必ずリリースされます。

GeneXus	Upgrade	Protection Server	管理できるライセンス
GeneXus17	U2	9.7.5.13	Ver17 以下全て
	U4	9.8.1.25	
	U6	-	
	U8	-	
	U10	9.8.1.29	
	U11	-	
GeneXus18	U2	9.8.1.32	Ver18 以下全て

GeneXus17 と共にリリースされた次の 3 つの Protection Server に大きな違いはありませんが、バージョンが新しいほど多くのバグフィックスを含みますので、常に最新バージョンを使用してください。

GeneXus	Upgrade	Protection Server
GeneXus17	U2	9.7.5.13
	U4	9.8.1.25
	U6	-
	U8	-
	U10	9.8.1.29
	U11	-

## 2. Protection Server の導入

### 2.1 要件の確認

下記の wiki を参考に Protection Server をインストールする端末を用意してください。

<http://wiki.genexus.jp/hwikibypageid.aspx?7353>

### 2.2 ネットワーク設定の確認

Protection Server のインストール後、サーバー端末と開発端末のネットワーク設定の変更が必要です。

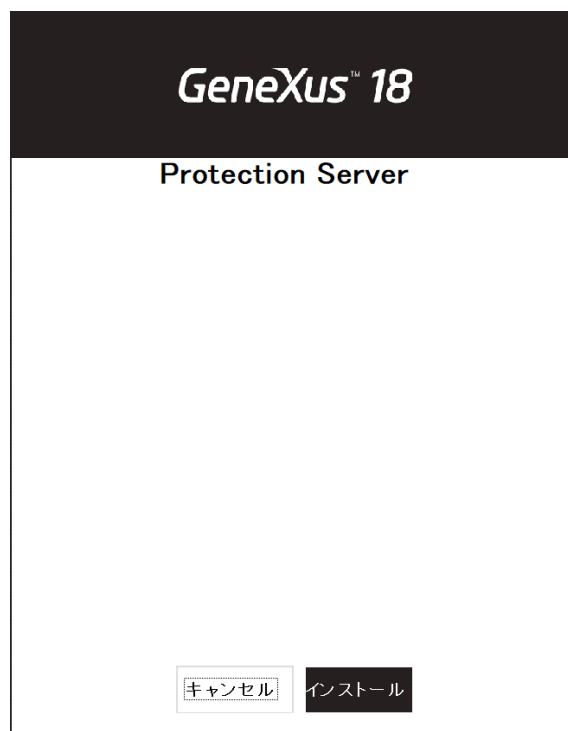
Protection Server のインストール前にそれらの変更が可能かどうか下記 wiki を参考に予め確認してください。

<http://wiki.genexus.jp/hwikibypageid.aspx?19985>

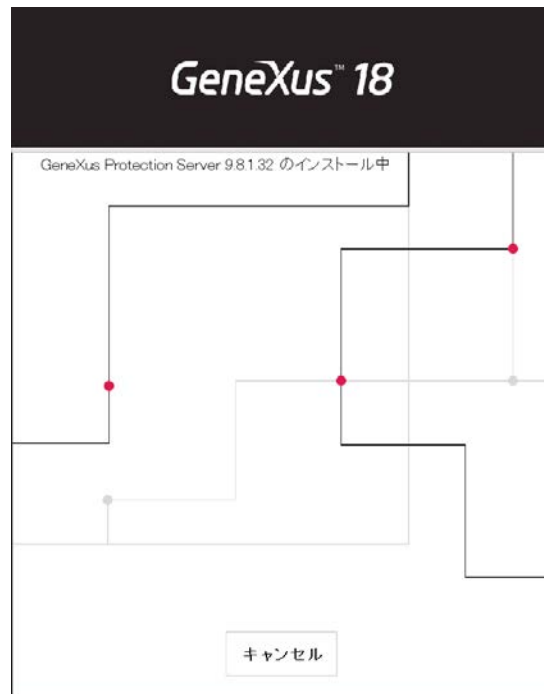
### 2.3 Protection Server のインストール

[弊社ホームページ](#)より「Protection Server X.X.X.X（X はバージョン番号）」をダウンロードします。Zip ファイルを解凍し、「GxProtSrvX.X.X.X.exe」を右クリックして「管理者として実行」します。「.exe」ファイルを実行すると下図の画面が表示されます。（本書では Protection Server9.8.1.32 をインストールする場合の画面で説明します。バージョンによっては画面の内容が異なることがあります。）

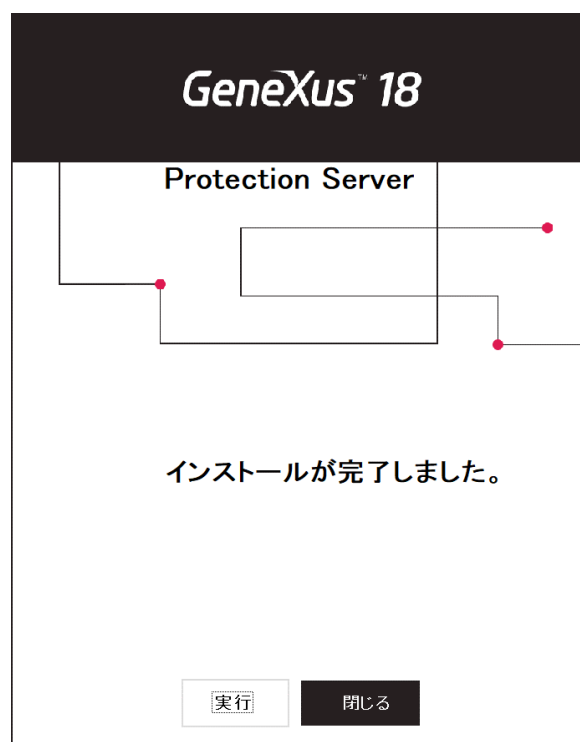
- 「インストール」をクリックします。



- インストール中は下図のような画面が表示されます。



- 下図が表示されれば、インストールは完了です。このままライセンス請求を行う場合は「実行」をクリックしてください。ライセンスマネージャーが表示されます。



## 2.4 Protection Server を使用する

Protection Server を使用するには下記 2 つの条件が整っている必要があります。①から整えてください。

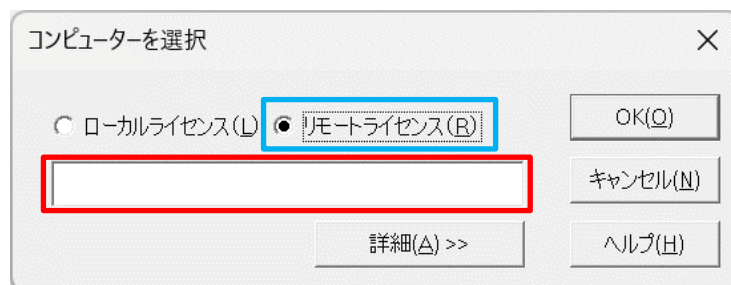
- ① 開発端末のライセンスマネージャーが Protection Server のライセンスを参照する設定になっている
- ② Protection Server にライセンスがある

### ① 開発端末のライセンスマネージャーが Protection Server のライセンスを参照する設定になっている

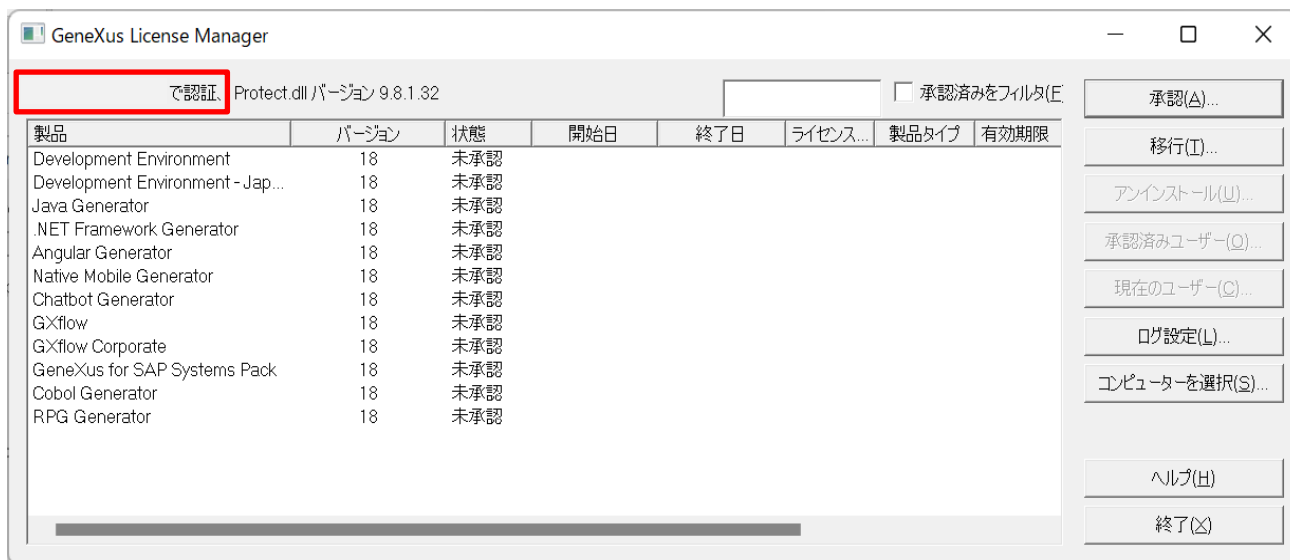
開発端末にて使用する GeneXus のライセンスマネージャーを開き、画面右側にある「コンピューターを選択」をクリックします。



「コンピューターを選択」画面が表示されたら、「リモートライセンス」にチェックを入れ、入力フィールド（下図赤枠）にサーバー端末の PC 名、もしくは IP アドレスを入力し、「OK」をクリックします。



「OK」をクリックした後、エラーメッセージが表示されず、ライセンスマネージャーの左上（下図赤枠）に「サーバー一名（または IP アドレス）で認証」と表示されれば、Protection Server のライセンスを参照する設定は完了です。



#### <注意>

ライセンスの参照先設定は個別に行う必要があります。

例えば、1つの開発端末に GeneXus18 と 17 がインストールされている端末がある場合。GeneXus18 のライセンスマネージャーの参照先を Protection Server に切り替えた場合、その変更は GeneXus18 にのみ適用され、GeneXus17 のライセンスマネージャーのライセンス参照設定はローカル参照のままです。

## ② Protection Server にライセンスがある

Protection Server にライセンスがある場合は、そのままライセンスをご使用ください。ライセンスがない場合、ライセンス請求が必要です。Protection Server をインストールしたサーバー端末にて Protection Server のライセンスマネージャーを開き、ライセンスの請求を行ってください。ライセンスマネージャーを開く方法は下記の2つがあります。

1. GeneXus Protection Server Japanese Edition のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを管理者権限で起動する
2. 下記の場所にある「GxLMgr.exe」を管理者権限で起動する  
C:\Program Files (x86)\Common Files\Artech\GXProt1

ライセンスマネージャーを開きましたら、ライセンスの請求を行い、発行されたライセンスを取り込んでください。ライセンスの請求や取り込み方法は GeneXus のライセンスマネージャーでの操作と同じです。GeneXus インストールガイドをご確認ください。

## 3. Protection Server のアップグレード

### 3.1 Protection Server をアップグレードする理由

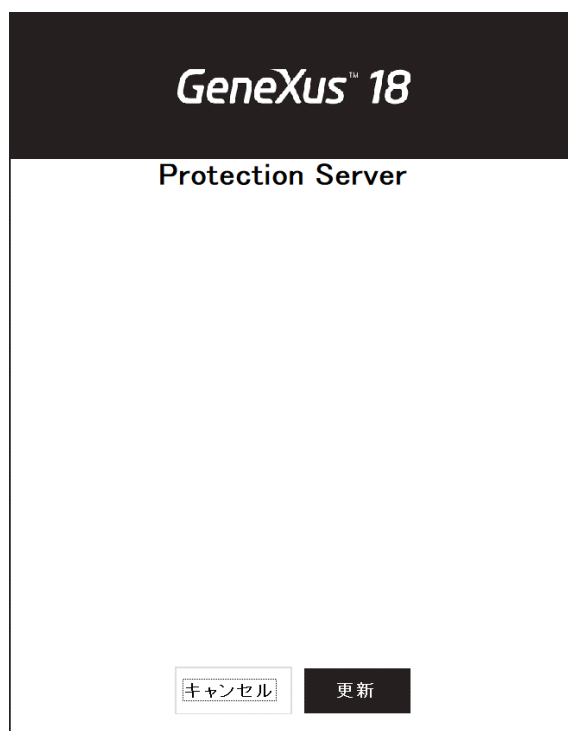
ご使用の GeneXus のメジャーバージョン（GeneXus「18」や「17」のこと）のバージョンアップをする時、Protection Server のバージョンをアップグレードする必要があります。

例えば、GeneXus17 がリリースされた時に Protection Server 9.7.5.13 が同時にリリースされました。しかし、Protection Server 9.7.5.13 はライセンスバージョン＝「18」に対応していません。そのため、GeneXus18 を使用するには、GeneXus18 と同時にリリースされた Protection Server 9.8.1.32 以上にアップグレードする必要があります。

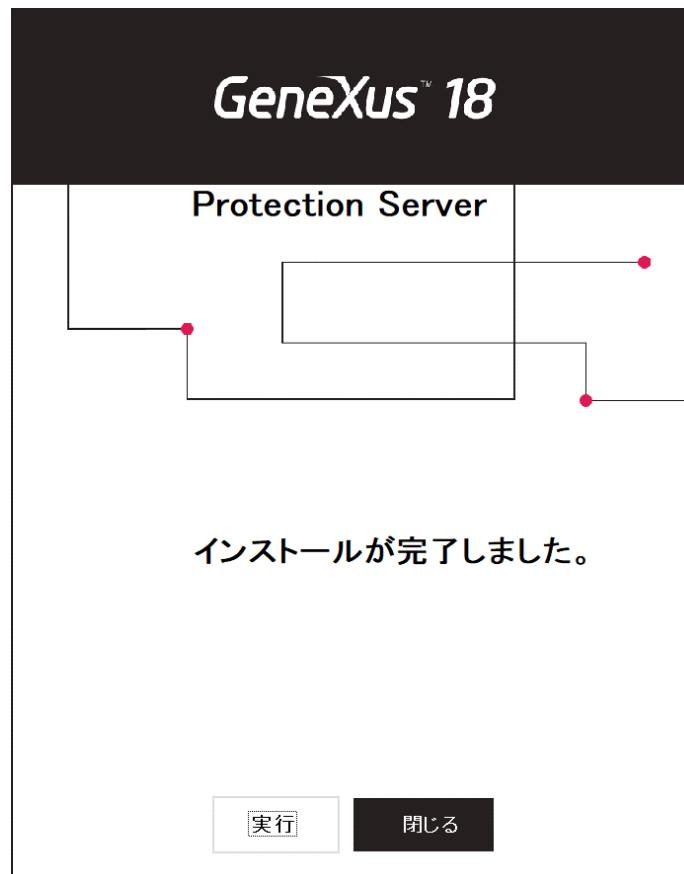
### 3.2 Protection Server のアップグレード方法

[弊社ホームページ](#)より「Protection Server X.X.X.X（X はバージョン番号）」をダウンロードします。Zip ファイルを解凍し、「GxProtSrvX.X.X.X.exe」を右クリックして「管理者として実行」します。「.exe」ファイルを実行すると下図の画面が表示されます。（本書では Protection Server9.8.1.32 をインストールする場合の画面で説明します。バージョンによっては画面の内容が異なることがあります。）

- 「更新」をクリックします。※「更新」の代わりに「インストール」が表示されることがあります。その場合は「インストール」をクリックします。



- 下図が表示されれば、インストールは完了です。このままライセンス請求を行う場合は「実行」をクリックしてください。ライセンスマネージャーが表示されます。

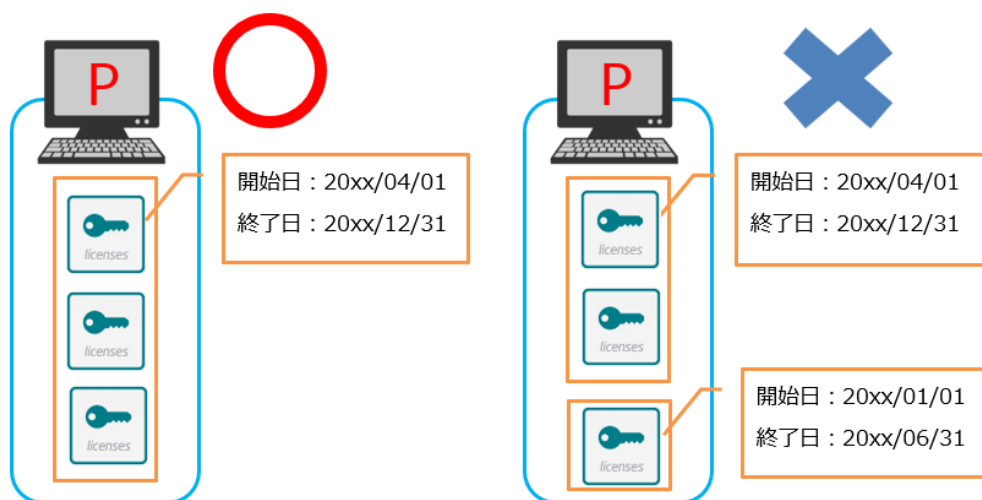


## 4. ライセンス複数本管理の注意点

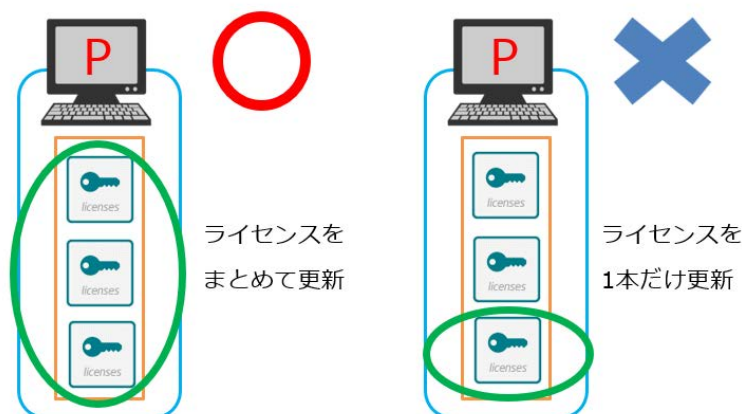
### 4.1 ライセンスを複数本管理できる条件

Protection Server がインストールされた 1 台のサーバー端末でライセンスを複数本管理するには、ライセンスの期間（ライセンスマネージャー上で表示される開始日と終了日）が一致している必要があります。例えば、「.Net Generator」ライセンスをサーバー端末で 3 本まとめて管理する場合、ライセンス 3 本全ての期間が一致している必要があります（補足①）。つまり、端末に既にライセンスがあり、ライセンスを追加発行する場合、追加発行されるライセンスは既存のライセンスの期間と同じ期間で発行される必要があります（補足②）。また、サーバー端末に既に「.Net Generator」ライセンスが 2 本あり、開発端末 A からライセンス 1 本をサーバー端末に移行する場合、サーバー端末と端末 A の「.Net Generator」ライセンスの期間は一致していないと移行できません（補足③）。

補足①：下の左図は 3 本のライセンスの期間が同じなのでまとめて管理できます。右図は 3 本のライセンスの期間が同じでないのでまとめて管理できません。

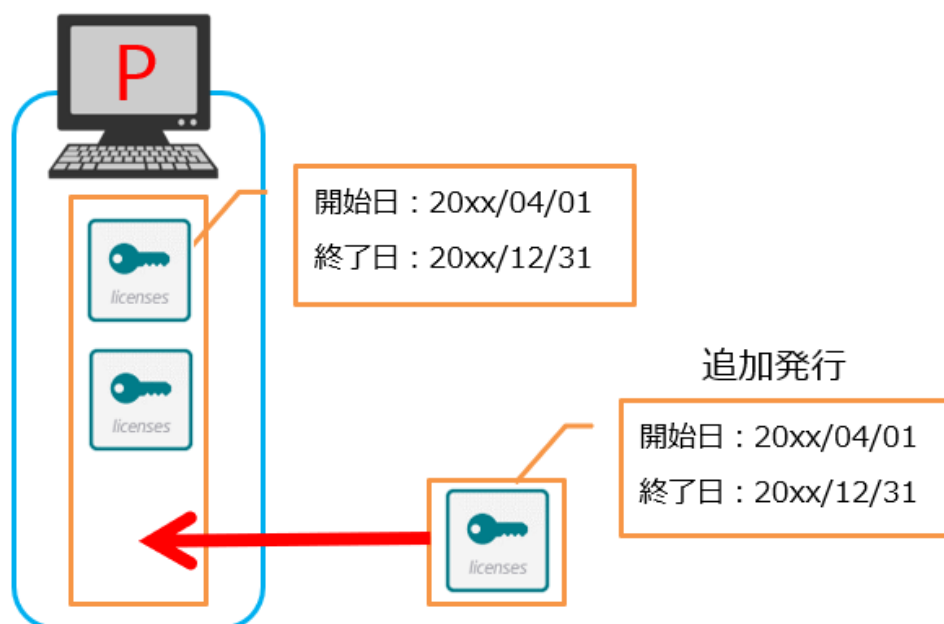


これは、全ての本数のうち数本だけを更新することはできないことも意味します。



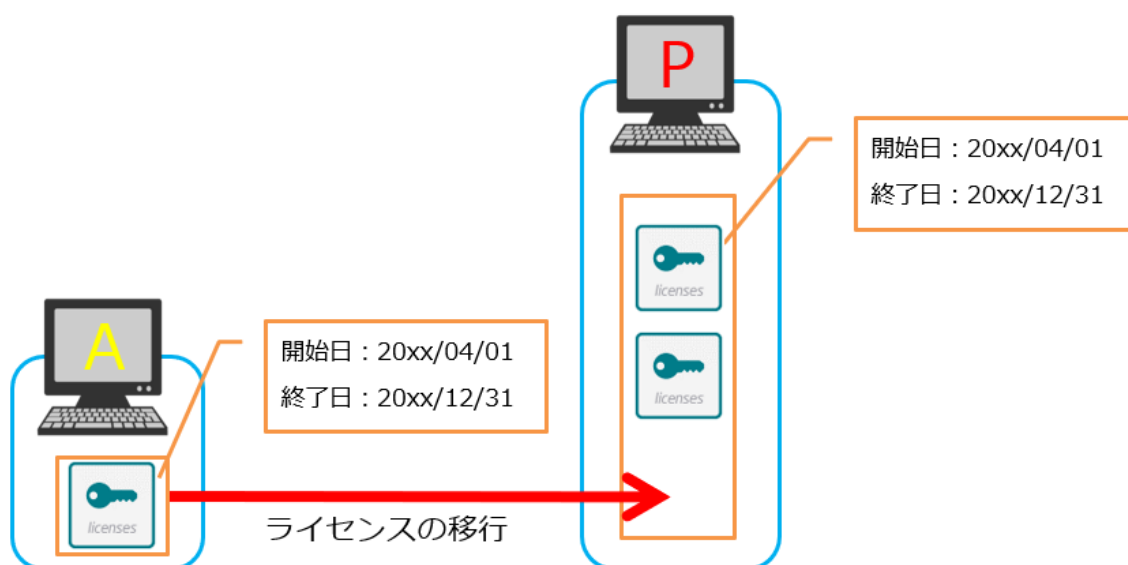


補足②：ライセンスを追加発行する場合、既存ライセンスと同じ期間で追加ライセンスは発行されます。



補足③：

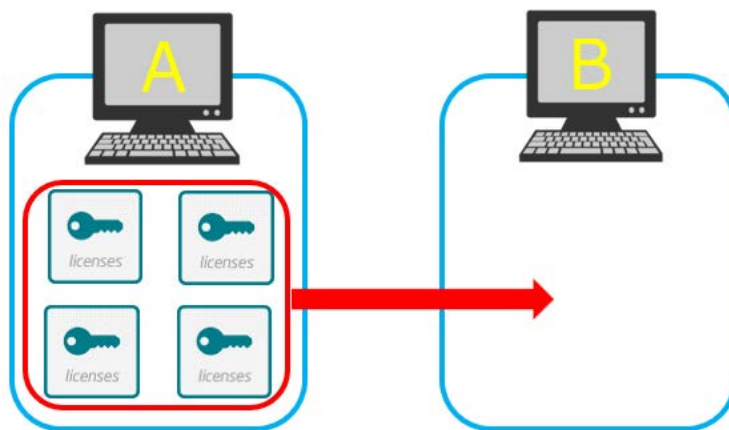
端末 P と端末 A のライセンスが一致しているので、ライセンスの移行が可能です。



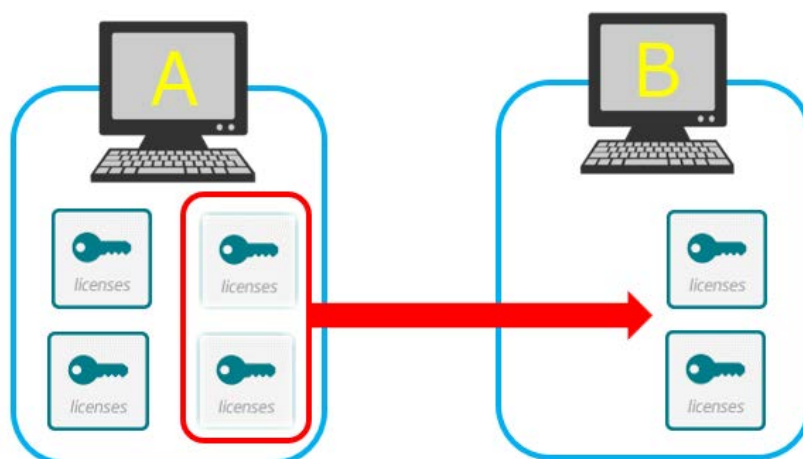
#### 4.2 複数本ライセンス更新/追加時の注意点

ライセンスの移行を行うことでライセンスの更新や追加が行えない場合があります。

サーバー端末入れ替えのため、下図のように Protection Server で管理している**ライセンス全て**を別の端末に移行する場合、更新/追加が行えない問題は発生しません。



一方、下図のように Protection Server で管理している**ライセンス総数のうち何本か**を別の端末に移行し、この状態でライセンスの更新や追加を行うと、次の更新や追加が行えない場合があります。その理由を説明するために次ページにて「発行単位」について説明します。



#### 4.2.1 発行単位について

発行単位について重要なポイントを簡潔に説明します。

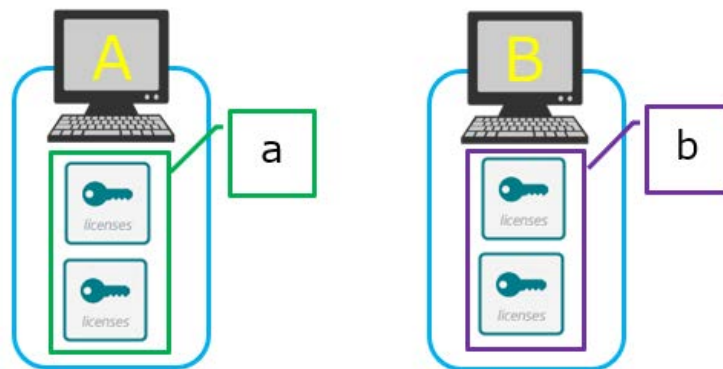
発行単位に関するより詳細な内容は当社ダウンロードページにてダウンロードできる次の資料を参照してください。

資料名：GeneXus ライセンス発行システム改修に伴う注意事項

([ダウンロードページ](#) → 「Other その他の資料」 → 「アナウンスメントレター」よりダウンロード)

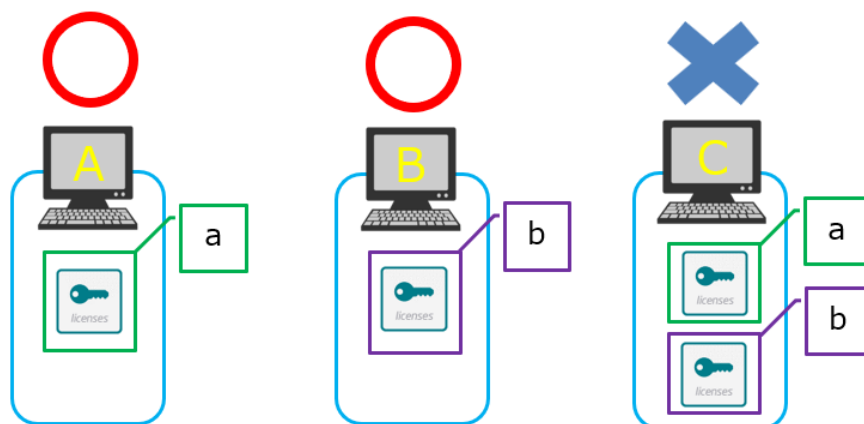
発行単位とはライセンスが持つグループ情報だとお考えください。

例えば下図のように 2 つの端末に複数本を新規ライセンスとしてまとめて発行した場合、それぞれ異なる発行単位が付与されます。



発行単位 a と b が同じ期限の場合、ライセンス移行によって 1 つの端末で a と b を管理することができますが、異なる発行単位が 1 つの端末で混在している場合、ライセンスの更新/追加が行えません。

#### ライセンス更新/追加の可否



端末 A（左）と端末 B（中央）のライセンスは移行によって 2 本から 1 本に減っていますが、発行単位が混在していないので、ライセンスの更新/追加が可能です。

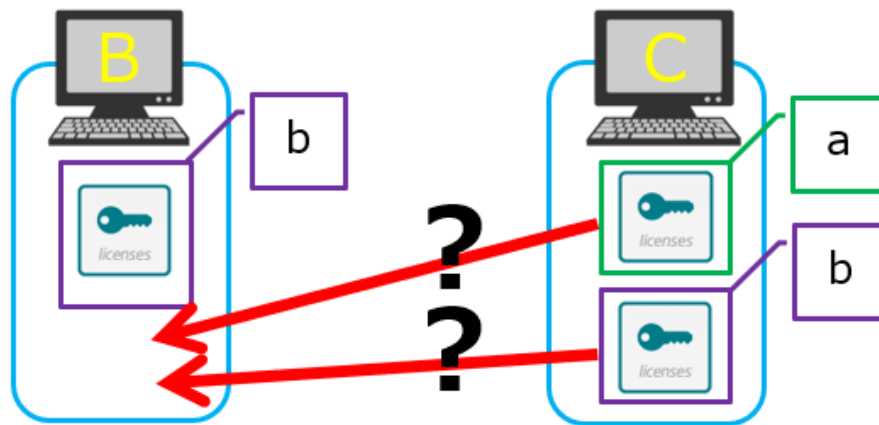
(次ページに続く)

発行単位はライセンスが内部的に持つ情報のため、ライセンスマネージャー等で確認することはできません。

そのため、発行単位が混在している端末から特定の発行単位だけを取り出すことはできません

例えば下図では、端末 C（右）にて発行単位が混在しており、発行単位 b だけを端末 B（左）に移行したいとします。

しかし、移行するライセンスの発行単位を a か b か選択することはできないので、もしライセンスを移行させた場合、移行後に端末 B（左）では発行単位が混在する可能性があります。



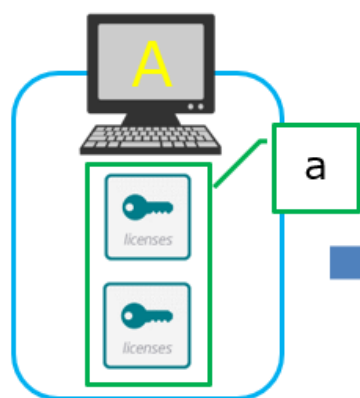
#### 4.2.2 発行単位の更新

ライセンスの更新/追加を行うと発行単位は更新されます。

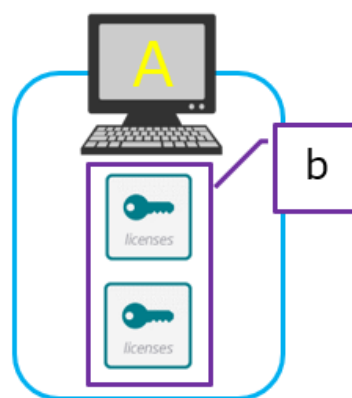
##### ◇ ライセンス更新のケース

ライセンスの更新を行うと発行単位が更新されます。

ライセンス更新前  
(期限:20x2年)



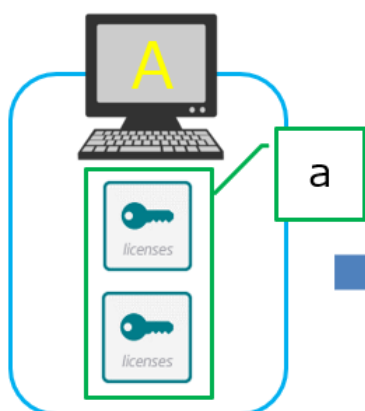
ライセンス更新後  
(期限:20x3年)



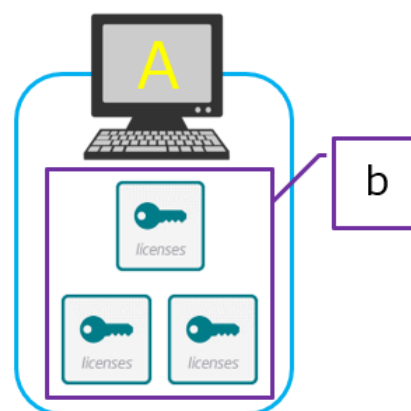
##### ◇ ライセンス追加のケース

ライセンスの追加を行うと発行単位が更新されます。

ライセンス追加前

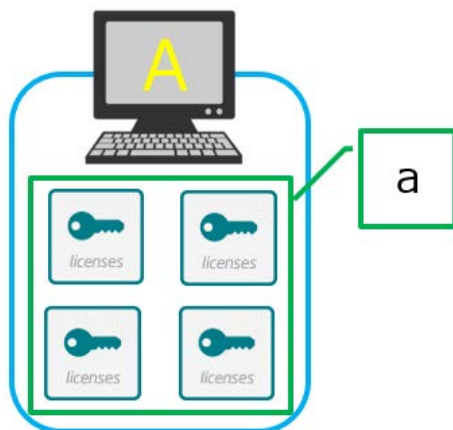


ライセンス追加後

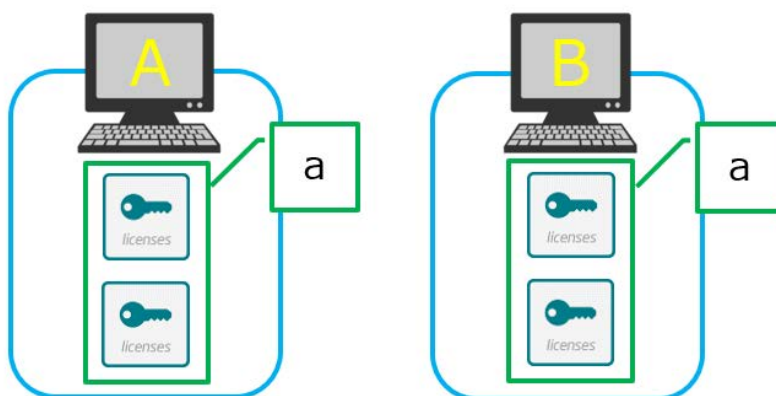


次ページではライセンスの移行の後に発行単位の更新/追加が行われたシナリオを説明します。

まず、端末 A に新規ライセンスを 4 本発行したとします。4 本はまとめて新規で発行されましたので、4 本とも同じ発行単位 a となります。

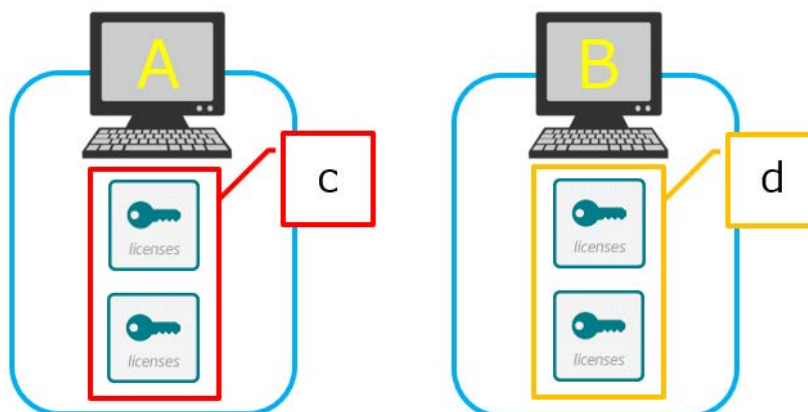


次に端末 A から端末 B にライセンスを 2 本移行します。

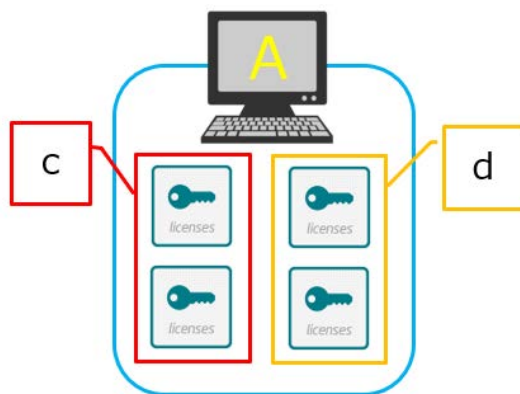


端末 A と端末 B には発行単位 a のライセンスが 2 本ずつあります。

端末 A と B でライセンスの更新を行うと、端末 A と B の発行単位はもとの a とは異なる発行単位に更新されます。

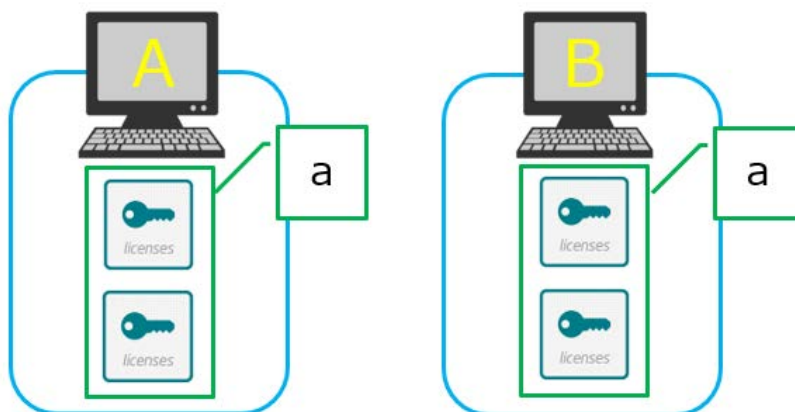


端末 A と B のライセンスは期限が同じなので、移行によって下図のように 1 つの端末にまとめることはできますが、発行単位が混在することになります。発行単位が混在しているので端末 A にライセンスの更新や追加は行えません。



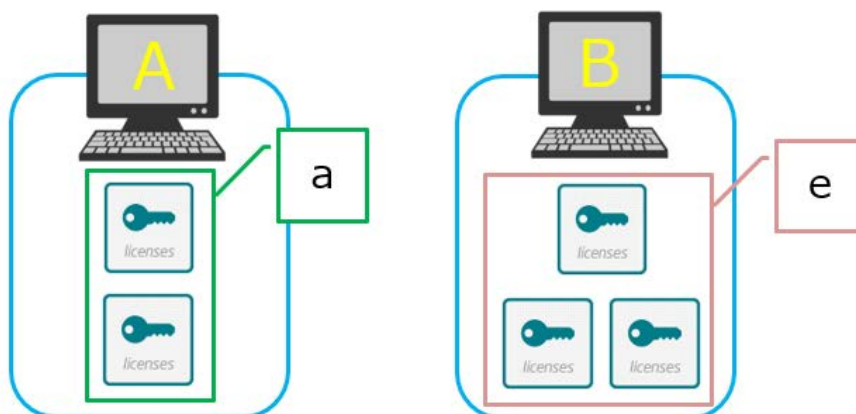
第二のシナリオの説明として、移行の後にライセンスの更新ではなく、端末 B でライセンスの追加を行ったとします。

### ライセンス追加前

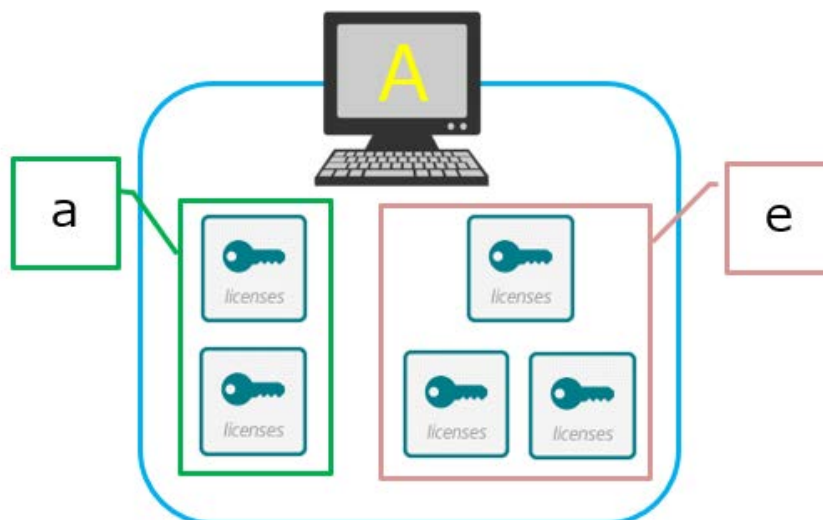


端末 B の発行単位 a はライセンス追加によって更新され、発行単位 e になります。

### ライセンス追加後



端末 A と B のライセンスは期限が同じなので、移行によって下図のように 1 つの端末にまとめることはできますが、発行単位が混在することになります。発行単位が混在しているので端末 A にライセンスの更新や追加は行えません。



これまで説明した 2 つのシナリオを簡単な図にすると以下ようになります。

移行後に更新		
アクション	端末A	端末B
新規発行	■	■
移行	■	■
更新	■	■
移行	■	■

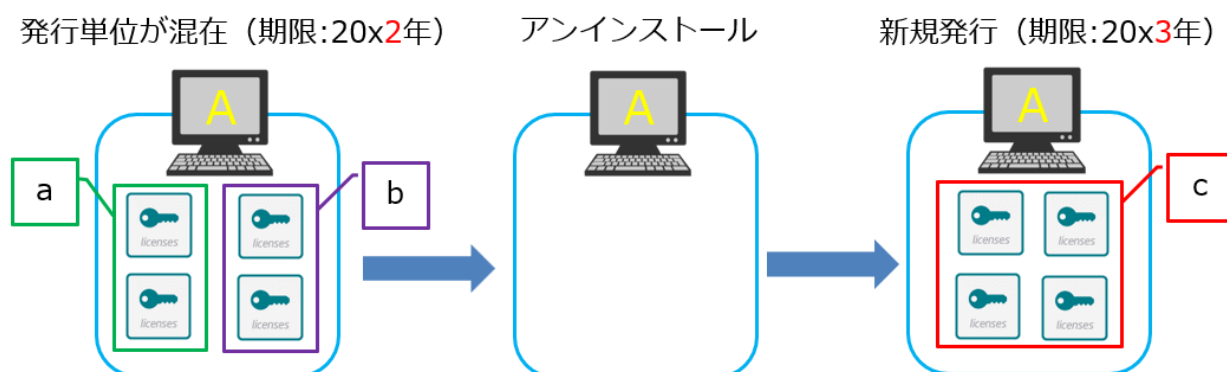
移行後に追加		
アクション	端末A	端末B
新規発行	■	■
移行	■	■
追加	■	■
移行	■	■



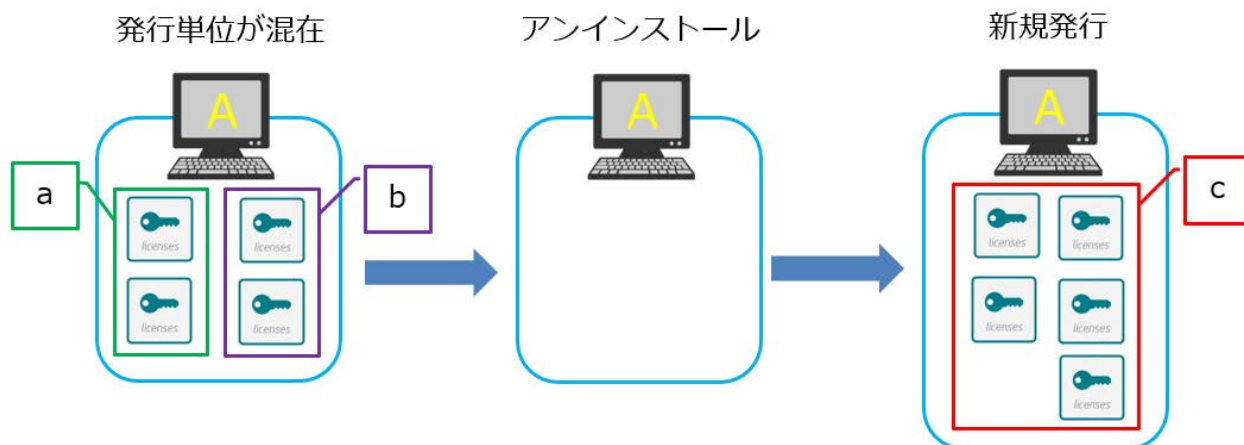
#### 4.2.3 発行単位が混在した後の対応策

もし、発行単位が混在した場合、更新/追加を行うにはライセンスをアンインストールして新規ライセンスを発行する必要があります。

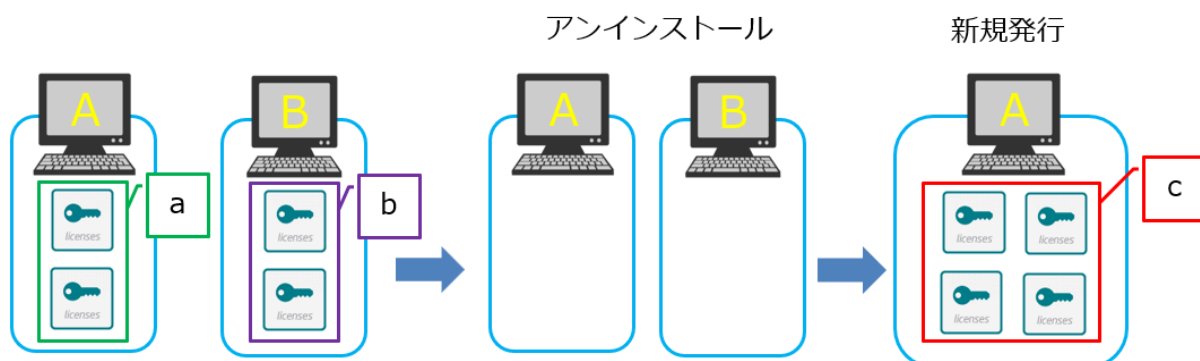
ライセンス更新の場合は、アンインストールした本数を「更新後の期限」で新規発行します。



ライセンス追加の場合は、「アンインストールした本数 + 追加したい本数」を新規発行します。

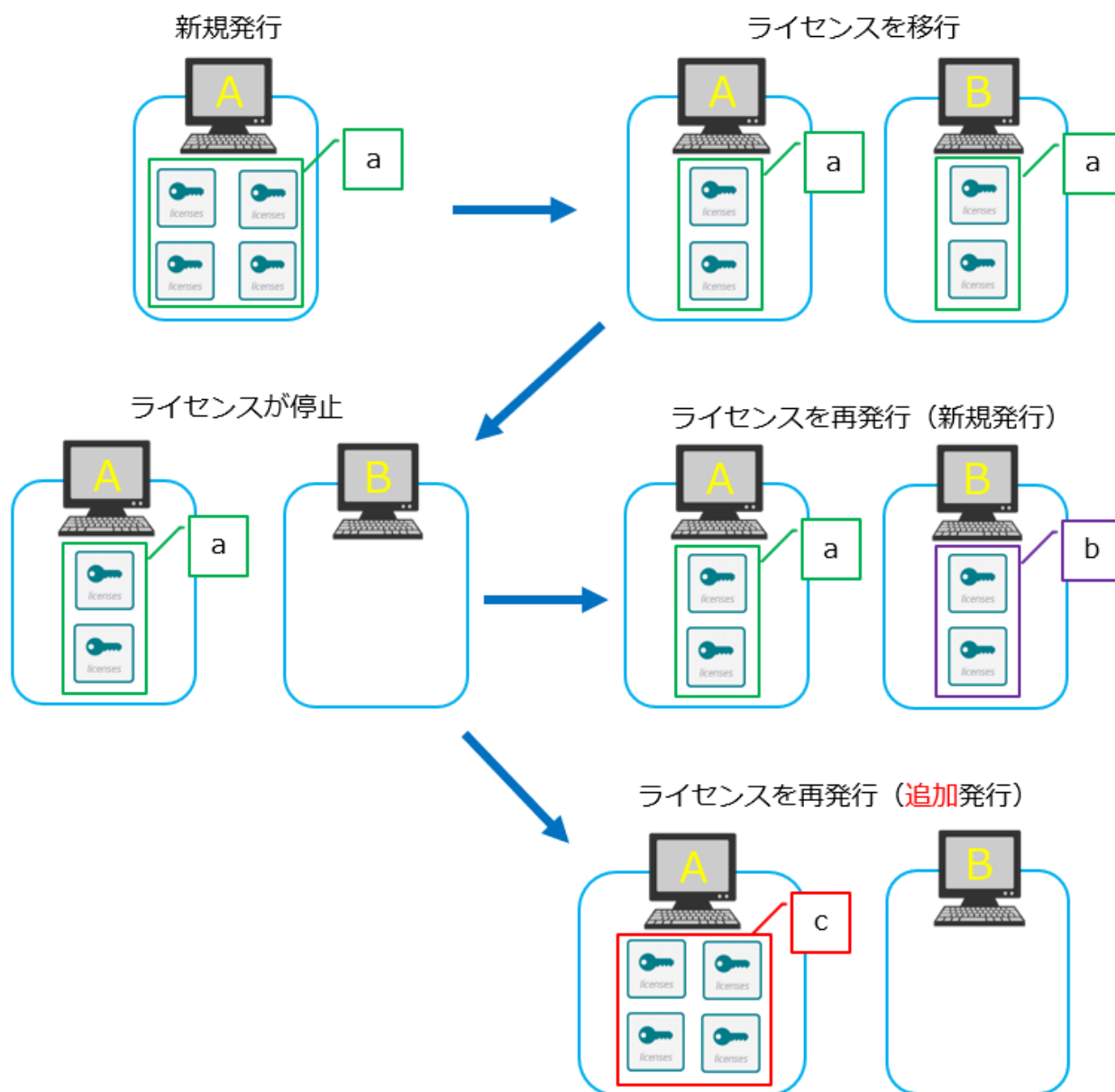


「ライセンスをアンインストール」「ライセンスを新規発行」は発行単位が実際に混在していなくても可能です。



#### 4.3 ライセンス停止と発行単位について

下図のようにライセンスを移行した後にライセンスが停止した場合、ライセンスの再発行を「新規発行」で行うと、既存ライセンスと異なる発行単位として発行されます。ライセンスの再発行を「追加発行」で行えば、既存ライセンスと共に発行単位が更新されます。



## 5. 期限の異なるライセンスを1つの端末で管理する

下図のように期限の異なるライセンスを1つの端末でまとめて管理するシナリオを説明します。

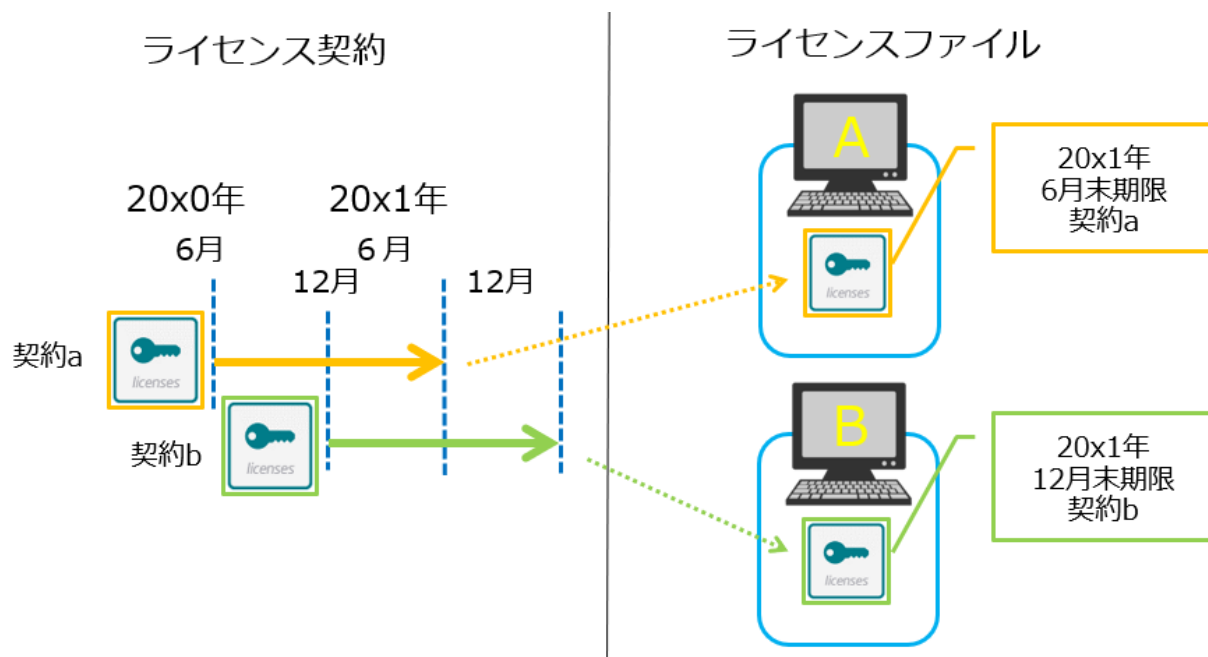


説明するシナリオは次の3つです。

- 端末 A（上図左）でライセンスを管理
- 端末 B（上図右）でライセンスを管理
- 端末 C（新規端末）でライセンスを管理

<シナリオ説明の準備>

当シナリオ説明においてのみ、端末に発行されているライセンスを便宜上「ライセンスファイル」と呼称し、下図のように「ライセンス契約」と区別します。（それぞれを「契約」や「ファイル」と略称で記載する場合あり）

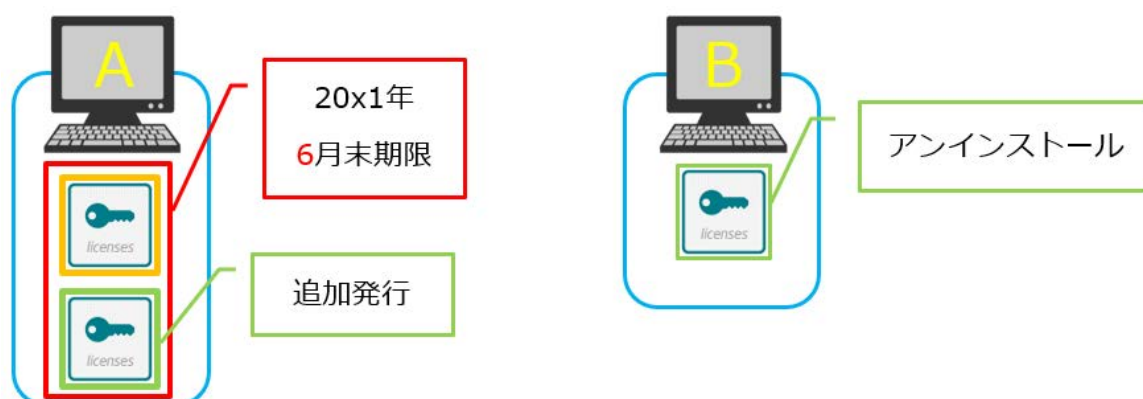


### 5.1 端末Aでライセンスを管理するシナリオ

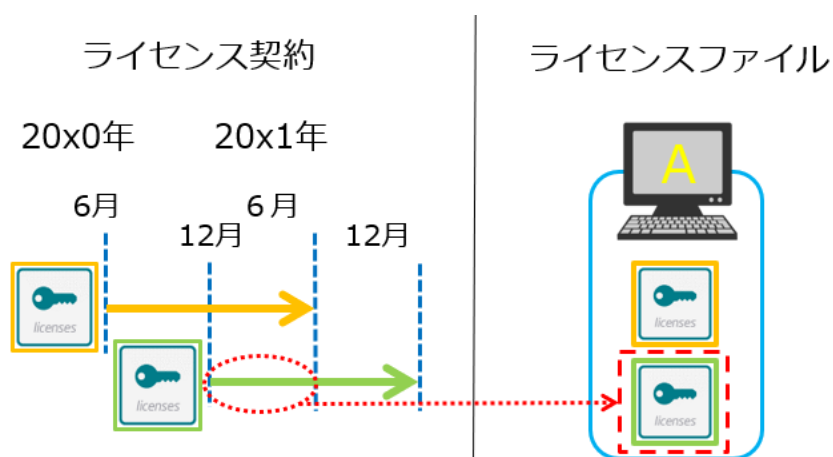
端末 B（右）のライセンスファイルを端末 A（左）で管理する方法を説明します。



期限の異なるライセンスファイルを移行によって1つの端末で管理することはできません。そのため、端末Aに「追加発行」を行い、その後端末Bでライセンスファイルをアンインストールします。



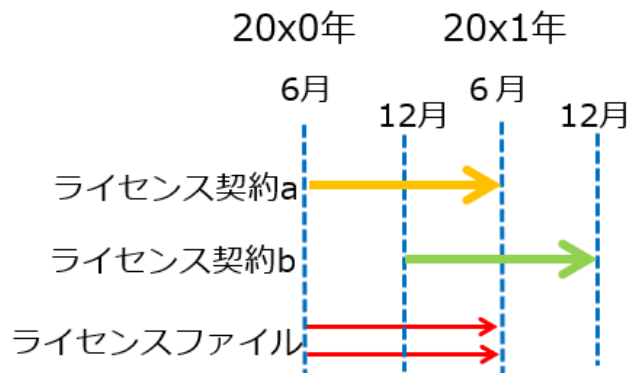
ライセンス契約（下図左）の○部分がライセンスファイルとして追加発行されているとイメージしてください。



次に「ライセンス契約」と「ライセンスファイル」の更新について説明します。

「ライセンス契約」と「ライセンスファイル」の期間を1つの図にすると下図のようになります。

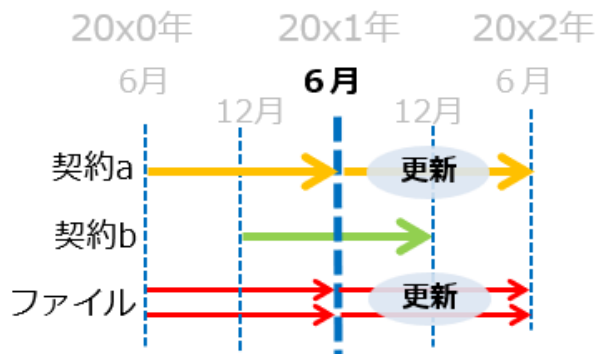
毎年6月に「ライセンスファイル」と「ライセンス契約 a」の更新が発生し、毎年12月に「ライセンス契約 b」の更新が発生します。



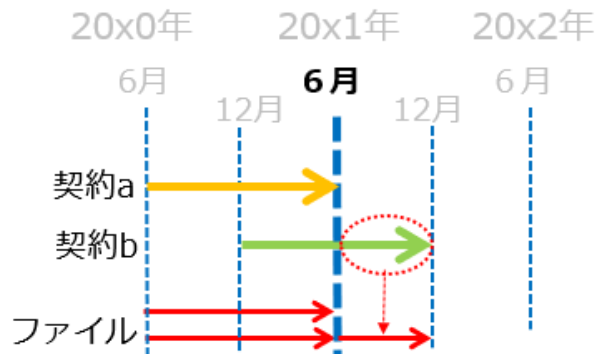
6月に「ライセンス契約 a」を更新すると下図左のようにライセンスファイルも更新できます。

6月に「ライセンス契約 a」を更新しない場合は下図右のように、「ライセンス契約 b」の残っている期間をライセンスファイルとして発行できます。

#### ライセンス契約aを更新した場合



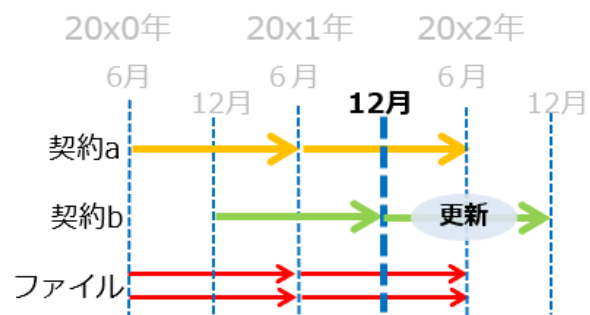
#### ライセンス契約aを更新しない場合



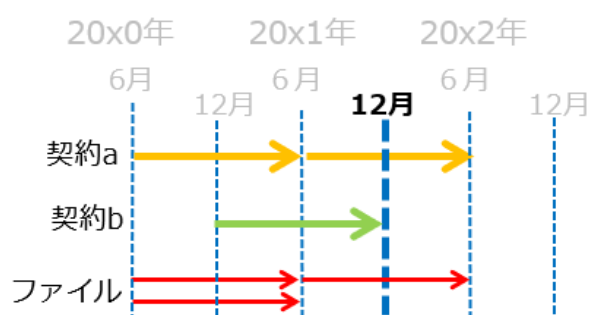
12月に「ライセンス契約 b」を更新すると下図左のようにライセンスファイルはそのままです。

12月に「ライセンス契約 b」を更新しない場合は下図右のようにライセンスファイルを1本アンインストールします。

#### ライセンス契約bを更新した場合



#### ライセンス契約bを更新しない場合

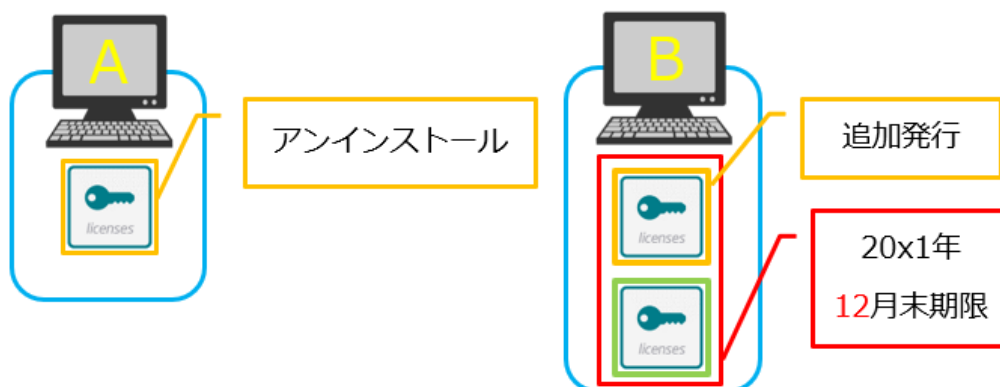


## 5.2 端末 B でライセンスを管理するシナリオ

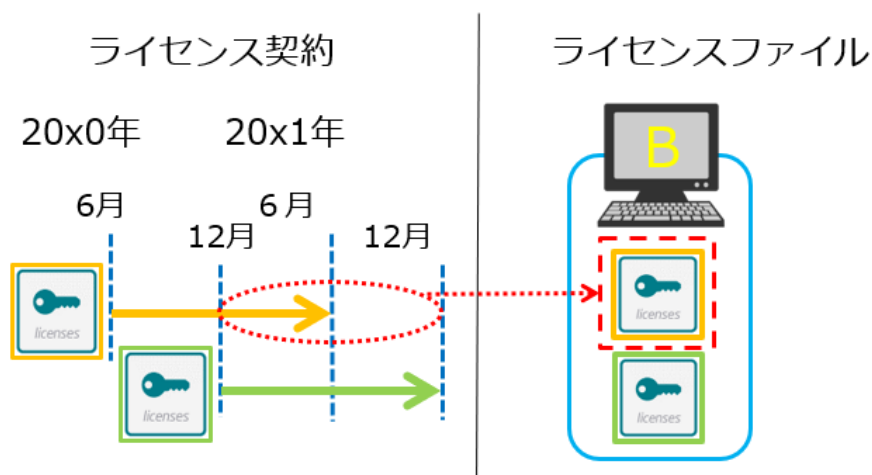
端末 A（左）のライセンスファイルを端末 B（右）で管理する方法を説明します。



期限の異なるライセンスファイルを移行によって1つの端末で管理することはできません。そのため、端末 B に「追加発行」を行い、その後端末 A でライセンスファイルをアンインストールします

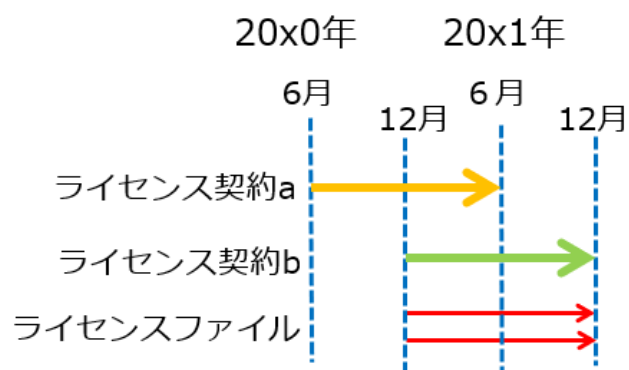


ライセンス契約（下図左）の      部分がライセンスファイルとして追加発行されているとイメージしてください。  
(次ページに続く)



「ライセンスファイル」と「ライセンス契約」の期間を1つの図にすると下図のようになります。

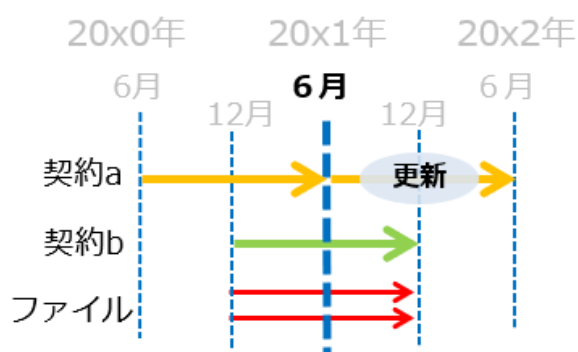
毎年6月に「ライセンス契約 a」の更新が発生し、毎年12月に「ライセンス契約 b」と「ライセンスファイル」の更新が発生します。



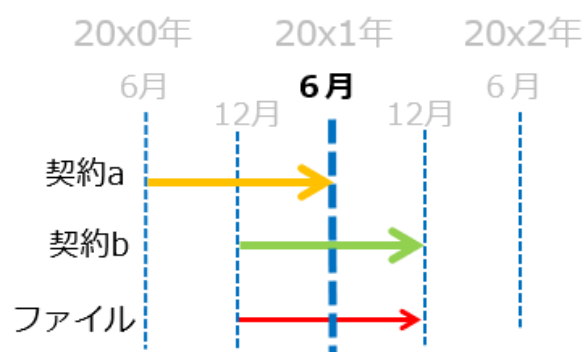
6月に「ライセンス契約 a」を更新すると下図左のようにライセンスファイルはそのままです。

6月に「ライセンス契約 a」を更新しない場合は下図右のようにライセンスファイルを1本アンインストールします。

#### ライセンス契約aを更新した場合



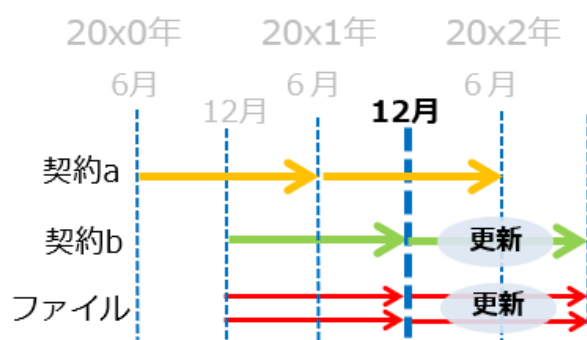
#### ライセンス契約aを更新しない場合



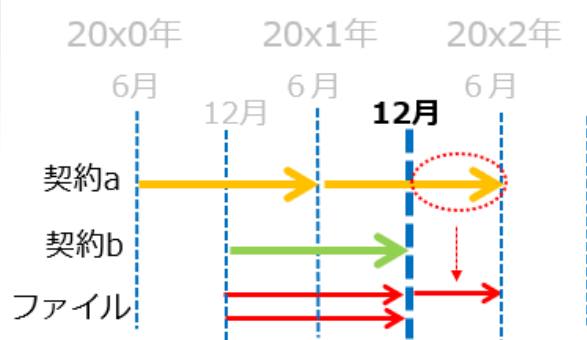
12月に「ライセンス契約 b」を更新すると下図左のようにライセンスファイルも更新できます。

12月に「ライセンス契約 b」を更新しない場合は下図右のように、「ライセンス契約 a」の残っている期間をライセンスファイルとして発行できます。

#### ライセンス契約bを更新した場合

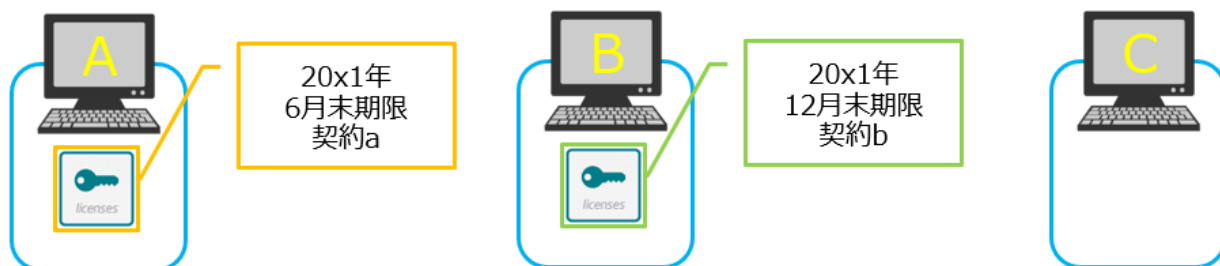


#### ライセンス契約bを更新しない場合

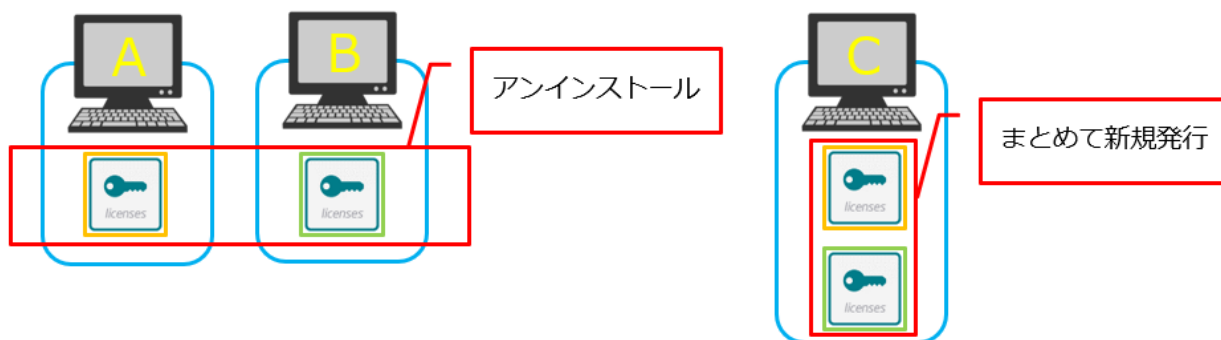


### 5.3 端末 C でライセンスを管理するシナリオ

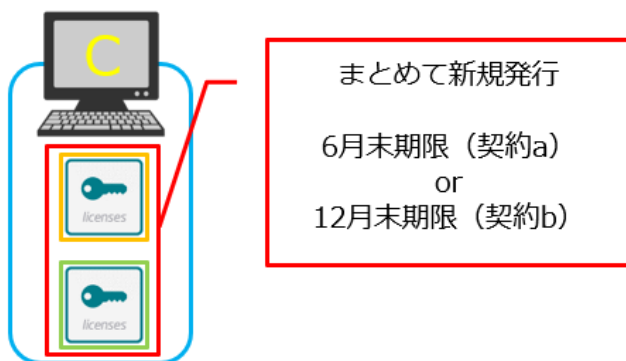
端末 A（左）と端末 B（中央）のライセンスファイルを新規端末 C（右）で管理する方法を説明します。



期限の異なるライセンスファイルを移行によって1つの端末で管理することはできません。そのため、端末 C に「新規発行」を行い、その後端末 A と端末 B でライセンスファイルをアンインストールします。

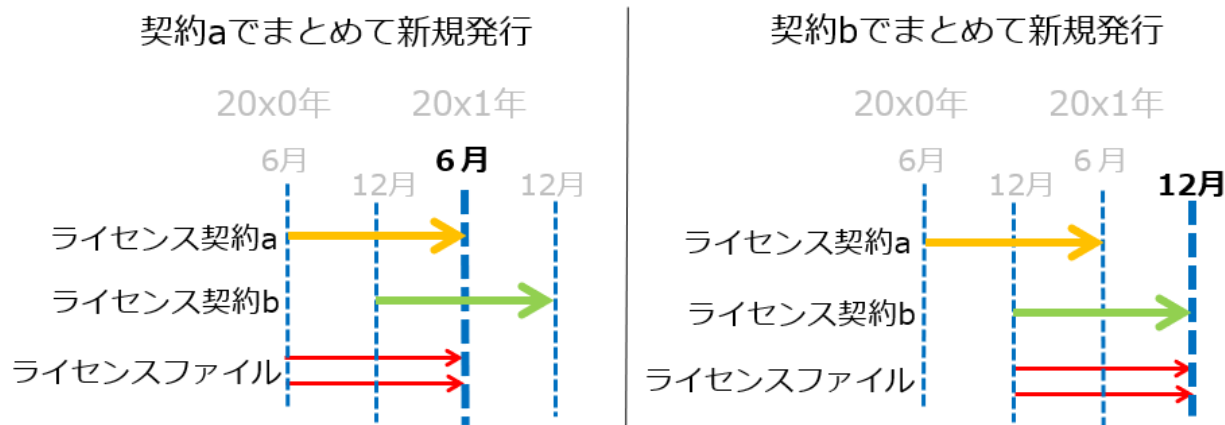


端末 C にライセンスファイルを新規発行する際に、契約 a（端末 A）の期限、契約 b（端末 B）のどちらの期限でライセンスファイルをまとめて発行するかを決める必要があります。





契約 a、契約 b のどちらの期限でライセンスファイルを発行するかで、ライセンスファイルの更新タイミングが異なります。



「ライセンス契約」と「ライセンスファイル」の期間を1つの図にすると下図のようになります。

#### 更新タイミング一覧

	契約 a 期限でまとめて新規発行	契約 b 期限でまとめて新規発行
ライセンス契約 a	6 月	6 月
ライセンス契約 b	12 月	12 月
ライセンスファイル	6 月	12 月

契約 a 期限でまとめて新規発行の場合、更新タイミングは「[端末 A でライセンスを管理するシナリオ](#)」と一致します。

契約 b 期限でまとめて新規発行の場合、更新タイミングは「[端末 B でライセンスを管理するシナリオ](#)」と一致します。

更新作業の内容も一致するため、更新作業の詳細はそれぞれのシナリオを参照してください。

## 6. ライセンス更新/追加/アップグレードの同時発生時のシナリオ

ライセンスの更新/追加/アップグレードが同時発生した際のシナリオを説明します。

※「追加」は次の2つのパターンがあります。

- ① 既存ライセンスの期限と同じ期限でライセンスを追加購入した
- ② 既存ライセンスの期限とは異なる期限のライセンスを追加購入した

②の場合は、[5. 期限の異なるライセンスを1つの端末で管理する](#) を先にお読みください。

### 更新/追加

まずは更新ライセンスを発行し、その後で追加ライセンスを発行します。

### 更新/アップグレード

アップグレードライセンスを更新ライセンスの期限で発行することで、更新ライセンスの発行を省略することができます。

### 追加/アップグレード

「既存ライセンスの本数」 + 「追加したい本数」をアップグレードライセンスの本数として発行することで、追加ライセンスの発行を省略することができます。

### 更新/追加/アップグレード

アップグレードライセンスを更新ライセンスの期限で、および「既存ライセンスの本数」 + 「追加したい本数」をアップグレードライセンスの本数として発行することで、更新/追加ライセンスの発行を省略することができます。

## 7. よくある質問

### 7.1 他の端末がライセンスを使用したままになっている。(ライセンスが解放されない)

Q.

Protection Server のライセンスを端末 A が使用していて、端末 A での使用が終わったので、そのライセンスを端末 B で使用しようとしていました。しかし、端末 A がライセンスを使用していると認識されているためか端末 B で Protection Server のライセンスを使用できません。

A.

端末 A の GeneXus を閉じることで、Protection Server は端末 A でのライセンス使用が終了したと判断します（ライセンスが解放される）。GeneXus を閉じているにも関わらず、ライセンスが解放されない場合は、Protection Server がインストールされている端末にて、タスクマネージャーを起動し、「サービス」タブの「ProtSrvService」を再起動してください。「ProtSrvService」の再起動は Protection Server の再起動ですので、他の端末が Protection Server のライセンスを使用している時は行わないでください。

### 7.2 Protection Server のライセンスを開発端末で操作できますか

Q.

Protection Server で管理しているライセンスの請求ファイルの作成やライセンスの取り込みといった操作は開発端末で行うことは可能ですか。

A.

可能です。開発端末のライセンスマネージャーが Protection Server 参照する設定になっていれば、そのライセンスマネージャー上で操作が可能です。

### 7.3 Protection Server のライセンスが開発端末では「未承認」と表示される

Q.

開発端末のライセンスマネージャーを開いて、既にライセンスがある Protection Server に接続しました。エラーは発生しなかったのですが、接続は成功していると思います。ただ、ライセンスマネージャーに表示されるライセンスが未承認と表示されます。開発端末の GeneXus は起動できるので、Protection Server のライセンスを参照はできているはずですが、なぜ「未承認」と表示されるのでしょうか。

A.

開発端末のライセンスマネージャーのバージョンが、参照しているライセンスのバージョンと一致しないからです。例えば、開発端末には GeneXus17 があり、Protection Server にはバージョン=18 のライセンスがあるとします。GeneXus17 のライセンスマネージャーはバージョン=17 のライセンスしか表示できないので、「未承認」と表示されます。ただし、ライセ

ンスの下位互換性により、バージョン=18 のライセンスで GeneXus17 が起動できます。このような状況で開発端末から Protection Server にあるバージョン=18 のライセンスを操作したい場合、開発端末に GeneXus18 をインストールし、GeneXus18 のライセンスマネージャーを使用するか、開発端末に Protection Server をインストールし、Protection Server のライセンスマネージャーを使用する必要があります。GeneXus のインストールは Protection Server のインストールに比べて時間がかかり、また、インストール後の容量は GeneXus がおよそ 2GB、Protection Server は 6MB です。開発端末で GeneXus18 を使用する予定がなければ、Protection Server のインストールを推奨します。

#### 7.4 WorkWithPlus がライセンスマネージャーに表示されない

Q.

Protection Server のライセンスマネージャーにて WorkWithPlus 項目がありません。そのため、ライセンスの請求ができないのですが、どうすればいいですか。

A.

WorkWithPlus for Web や他の DDevelop 社製品はデフォルトでは Protection Server のライセンスマネージャーに表示されません。Protection Server がインストールされている端末に「WorkWithPlus Protection Server」をインストールしてください。「WorkWithPlus Protection Server」は[弊社ホームページ](#)のダウンロードページにある「WorkWithPlus for Web / WorkWithPlus for Native Mobile / WorkWithPlus for Audit」からダウンロードできます。

#### 7.5 Protection Server に接続できない

Q.

開発端末のライセンスマネージャーを開き、Protection Server に接続しようとしたらエラーが表示され接続できませんでした。

A.

下記で解決できるかをお試ください。

① Protection Server がインストールされている端末でライセンスマネージャーが開けるか

→ 開けない場合、Protection Server に問題がある可能性があるため、Protection Server を再インストールする。

② 他の開発端末では同じエラーが発生しないか

→ 発生しない場合、エラーが発生する端末に問題がある可能性があるため、その端末のネットワーク構成や FireWall の設定を確認する。